



千葉市議会議員（美浜区選出）

松坂よしのり議会活動報告

千葉市議会議員松坂吉則の決意！ 任期中の確実な実績！

防災・危機対策特集

これからも、千葉市のため、美浜区のため全力で走り続けます。

4年間の通信簿！！

皆様、市政に送っていただき8年目を迎えます。任期中の4年間を振り返ると、議会での一般質問・代表質問も美浜区選出議員の中で最多の27回を数え、千葉市、美浜区の課題を積極的に取り組んでまいりました。2期目の初年度は3.11 東日本大震災後、市議会に初めて設置された防災危機対策調査特別委員会委員長を任せ、美浜区内の復旧と災害対策に日々取り組んでまいりました。また、いつ起こるかわからない首都圏直下型地震に対応するため、市に対し多くの提案を行いました。さらに、2年目は都市建設委員長を3年目には教育未来委員長を4年目には総務委員長と市政の要職を任せさせていただきました。これからも、美浜区に山積する、団地の建て替え、高齢者福祉、首都圏直下地震対策・自然災害対策、子育て支援等、多くの課題に取り組む予定です。また、千葉市政全体を見ますと厳しい財政状況はこの先も続きます。我々、自由民主党市議団は議会の権能であるチェック機能を最大限生かし無駄を省き、スリムな行政を目指し進んでまいります。皆様からお預かりした税金を無駄なく有効に活用するため努力するのが議員の役目だと考えます。これからは予算、決算などしっかり検証し議論できる議員が必要だと考えます。私もまだまだ勉強中ではありますがプロフェッショナルな議員を目指しこれからも努力してまいります。

2期目の当選後、松坂吉則が特に力を入れてきた防災対策や危機管理！多くの提案の中から、実施されることになった成果の一部を報告します！！

防災・危機対策調査特別委員会委員長として市長に提言書を提出！！

地方自治体の二元代表の一翼である議会は、大震災を教訓に、千葉市の防災対策・危機管理能力を補うため市執行部に多くの提案を行ってきました。防災・危機対策調査特別委員会（松坂吉則委員長）は、東日本大震災を契機とし、市の復興対策はもとより、防災・危機対策について調査することを目的として設置されました。以来、さまざまな角度から千葉市の防災・危機対策について調査するとともに、市内被災地の現地視察や先進市への視察を行うなど、スピード感を重視した積極的な活動を実施してまいりました。これまで、千葉市が他市より遅れていた防災組織体制や震災の復旧・復興対策、放射能対策など、早急な対応が必要と思われる事項について適宜要望書を提出してまいりました。さらに、これまでの調査研究を踏まえ、特別委員会として首都圏直下地震等に備え、千葉市の危機管理体制や防災対策のさらなる強化改善を求め、中長期的に取り組むべき10項目の事項について提言書を作成し、熊谷市長に提出し回答を求めました。今後、懸念される首都直下地震や千葉県東方沖地震に備え、反省点や教訓を活かし、しっかりとした体制づくりを構築するよう議会もサポートしてまいります。



東日本大震災を踏まえた「防災・危機対策に関する提言書」対応状況について（平成27年1月時点）

千葉市も美浜区を中心に甚大な被害を受けた東日本大震災から4年を迎えます。私は、震災後、市議会として初となる防災危機対策特別委員会の委員長を任せ、美浜区選出議員として区内はもちろんのこと、千葉市全域を災害に強いまちとするため、精力的に委員会活動に取り組み、防災・危機管理に関する提言書を市側に提出しました。その提言に対する防災への取り組みの一部ではありますが、実現した内容をご報告します。

1 防災意識の普及啓発について。（小・中・高等学校においては、今回の震災を教訓に防災教育の充実強化を図ること、子供たちの災害対応能力の向上に努めること）

【対応状況】 ○小・中・高等学校の防災教育 中学校では、「自然災害と防災への取組み」を学んでいるほか、小学校では平成27年度から使用する教科書に、「地震からくらしを守る」や「災害から身を守る」などが新しく内容として扱われることとなりました。千葉高校では、教員の誘導なしの避難訓練を、稲毛高校では、津波を意識した避難訓練を実施するなど、各校とも従来の訓練内容の見直しを行っています。

2 避難所運営について（1）災害時に避難所となる全小中学校の耐震化やトイレの洋式化を急ぐとともに、各避難所に必要な備蓄品を常備するほか、マンホールトイレ等の必要数を整備すること。

【対応状況】 ○学校施設の耐震化 学校施設の耐震補強については、平成26年度末までに屋内運動場1校を除き、完了することとなりました。屋内運動場については、天井等落下防止対策を27年度までに完了目標としており、この工事にあわせてトイレの洋便器化を進めることとなりました。

○備蓄品 これまでは想定避難者約19万5千人の2食分として、約39万食を目標に備蓄することとしておりましたが、今後は発災から3日間を目標に、26年度から5年計画で食料、飲料水、トイレ、生活物資等の備蓄を増強することとなりました。

○マンホールトイレ 平成26年12月末までに35箇所を整備が完了し、28年度までに、合計56箇所整備することとなりました。

【備蓄目標】

食料	610,000食(1日2食・3日分)	簡易トイレ	2,800基(60人に1基)
飲料水	493,000本(1日2本・3日分)	生理用品	83,000枚(1日6枚・3日分)
毛布	88,000枚(1人1枚)		



提言書・対応状況の詳しい内容は千葉市危機管理課まで
043-245-5136（直通）